

ロマンは実を結ぶ

米子地方本部 浜田鉄道部分会

No.314

米子地方本部浜田鉄道部分会は、2021年11月20日に、浜田駅東区分会と益田駅分会が解散し、浜田鉄道部分会へ吸収合併した新しい組織の分会です。

現在19名で活動をしており、東から大田市駅・江津駅・浜田駅・益田駅・益田駅の5職場から成っており、距離にして約100キロある幅広い組織です。

合併前は、駅の取り組みはただ中だつたため、集まると

駅で、鉄道部の取り組みは鉄道部で行ってきました。しかし、駅業務体制の見直し等により、駅分会の組合員数が減少する中、普段の業務においても関係性が深く、連携している駅と鉄道部が一緒の分会になることにより、相乗効果が生まれ、より働きがいのある職場にできるのではないかと考えてに至りました。

発足当初は、コロナ禍の真ただ中だつたため、集まると

執行委員会や職場集會、懇親会の開催が困難な状況が続きましたが、JR採用組合員が中心となり、SNSを活用して情報の共有を図っているため、分会役員でない組合員にもスピーディーな情報共有を実現しています。

また、11月には分会大会を開催し、多くの組合員の参加のもと、コロナ禍の組合員活動や今後の駅業務

冒頭、沖島委員長が主催者を代表して、「JR単組間での交流は、JR連合青女の活動方針にもあり、互いを知ることで視野を広げ、新たな発想が生まれる。是非、有意義な場としてほしい」と挨拶を行った。

その後、それぞれの活動紹介として、JR西労組から沖島委員長が、JR四国労組から



同じJRの仲間として様々な取り組みや課題、悩みなどを共有できた

の活動に対する課題や今後の取り組みについて、グループディスカッションを行い、青女世代の減少に伴う役員育成の課題や、日々の業務に関する悩み、離職問題や組合活動を上げてきた良かったことなど、同じJRの若手組合役員として奮闘する仲間からの様々な意見が出され、大変有意義な

中央本部は、2月11日(土)、JR西労組会議室において、初めてとなる西バス地本・中バス地本女性組合員意見交換会を開催し、両バス地本から11名の女性組合員が参加した。

まずはじめに、中央本部を代表して羽野書記長から、安全春闘離職について、また、女性組合員(期待)することなどの挨拶があった。

その後、西労組がこれまで、女性活躍の取り組みとして行なってきた、制度改正などについて説明がされ、矢田西バス地本委員長、友景中バス地本委員長の挨拶があった。

意見交換では、また女性乗務員が働きやすい環境になつてほしいこと、中バスには女性管理職(助役)が増えてきてほしいこと、女性が意見を言う場を求める声などを聞くことができた。

参加者からは、「他のバス会社の在り方について、熱い議論を交わすことができました。今後は、目まぐるしく変化する職場環境ではあります。JR西労組運動の魅力の1つでもある企画提案運動で、現場から新しい風を呼び

込み、組合員が働きがいと誇りの持てる職場にするために、ひとり一人を尊重した分会活動をめざして、取り組みを展開していきます。

(米子地本発)

2月5日(日)に、下関市議会議員選挙の投票が行われ、JR西労組議員団会議所属(会計監査)の山下隆夫氏(広島機械区出身)が見事、6期目の当選を果たした。

今選挙では、定数34人に対し49人が立候補する厳しい選挙戦となったが、山下氏の5期20年の実績と「地域で暮らす皆さんの夢を咲かせるお手伝い役として、市民一人ひとりが輝ける『まちづくり』を目指す」という訴えが有権者に届き、1,767票を獲得し6期目の当選を果たした。

1月29日(日)の告示日以降、山下氏の再選を目指し、中心になって選挙戦を支援した広島地方本部と山口第二支部に改めて感謝申し上げます。

引き続き、私たちと政治との関わりや重要性について理解を深めるとともに、来る統一地方選挙に立候補する組織内議員(梶原英樹、京都府議会議員、京都市山科区、柿本忠則、島県議会議員、広島市東区)、田尻匠、奈良良、議會議員(奈良市山辺区)、酒本哲也、山口県議會議員(山口県下関市)、坪田晋氏

(福岡市博多区)の必勝に向けて、積極的な取り組みを要請する。

皆さま、大変お世話になっております。福岡県博多区より県政に挑戦させていただきます。まず坪田晋氏です。私の兄が、JR西日本博多総合車両所に勤めていること

から縁をいただき、この度JR西労組組織内候補として挑戦させていただきますことになりました。

私は社会保険労務士としており、様々な立場の方の就労生活の支援に携わり、また、車いすラグビーチームを立ち上げ、障害を持った方の活躍の場を広げる活動も行ってきました。

皆さまが安心して働ける・生活できる環境作りに尽力してまいりますので、ご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

西バス・中バス地本 女性組合員意見交換会を開催 両バス地本から11名が参加



バス産業で活躍する女性組合員同士の交流の場となった

JR西労組議員団会議所属 山下隆夫氏1,767票を獲得し 6期目当選



支援者とともに喜びの万歳三唱を行う山下氏(左から二人目)

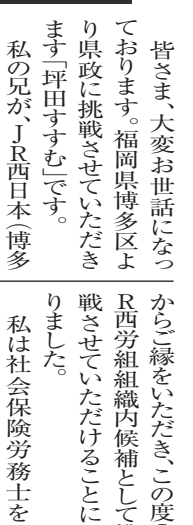
両組合役員総勢34名が参加・交流

意見交換会となった。最後に、JR四国労組矢野青年女性議事長が「JR単組間での交流は今限りで終わることなく、継続的にいっしょに、JR産業で働く仲間と一致協力し、様々な課題解決を行っていく！」と締めくくり、会を終了した。

JR西労組青年女性委員会は、引き続き、最大の目的である「仲間づくり」を推進を進め、JR連合の仲間と交流を深めることで、幅広い視野を得られるよう取り組みを進める。

私たちは JR西労組議員団会議の 所属議員です

第7回 福岡県議會議員候補 坪田 晋氏



統一地方選挙挑戦へ意気込む坪田候補(中央)

ウエスト君

中野りき (NO 363)